

オオコウモリの保全に係る事項

1. これまでの経緯

- 昭和 44 年 国の天然記念物に指定
- 平成 8 年 父島の農園でハウスのネットに絡まり、計 2 頭が死亡する事故が発生
「オガサワラオオコウモリ対策会議」が組織され、共生のための議論開始
- 平成 21 年 種の保存法による国内希少野生動植物種に指定
- 平成 22 年 保護増殖事業計画(文部科学省、農林水産省、国土交通省、環境省)策定
以降、行政機関、関係団体による連絡会議を開催
- 平成 25 年 第 2 回地域連絡会議において、食害対策など人間生活との軋轢解消とオオコウモリの保護の両立が強く求められる
- 平成 26 年 オガサワラオオコウモリとの共生に係る地域課題 WG 立ち上げ
- 平成 27 年 科学委員会において、「オオコウモリの専門家を交えた検討会を設置し、早急に議論すべき」
地域連絡会議において、「コウモリの適正個体数等の科学的知見について、専門家からご意見をいただける場を早急に設けてほしい。」といった意見が出された。

2. 平成 28 年度オガサワラオオコウモリ勉強会の開催について

目的：国指定天然記念物であり国内希少野生動植物種に指定されているオガサワラオオコウモリについて、生態学の専門家から、他地域の事例紹介などをしてもらいながら、絶滅回避に必要な個体数の考え方などについて、関係行政機関、関係団体などと情報を共有する。

会議：平成 28 年度オガサワラオオコウモリ勉強会

主催：環境省小笠原自然保護官事務所

日時：父島会場 平成 28 年 12 月 19 日（月）19:00～20:30

母島会場 平成 28 年 12 月 21 日（水）10:00～11:30

場所：父島会場 小笠原ビジターセンター

母島会場 支所会議室